

お取引先さま各位

カカオ・チョコレート週刊ニュース 92号

2014/04/28 発行
株式会社 立花商店
生田 渉

お世話になります。カカオ・チョコレート関連のニュースを前週の出来毎の中から注目ニュースを5本前後ピックアップして、発行しています。カカオやチョコレート中心に取り扱っております弊社と致しましては、広く関係者の方々に読んでいただけるように、少しずつでも有益な情報をお届けできればと考えております。宜しくお願い致します。

1、市況の動き：週前半はわずかに上昇するも、後半にかけて再度下落基調

① 最高：7月 LDN 市場£1,882 /7月 NY 市場\$3,008 (4/23) 先週比 **LDN +£1/NY -\$12**

② 最低：7月 LDN 市場£1,848 /7月 NY 市場\$2,953 (4/25) 先週比 **LDN -£9/NY +\$21**

週内価格差額 (①-②)：LDN 市場£34 (傾向↑) / NY 市場\$55 (傾向↑)

週内建玉推移：LDN 市場 290,386 枚(4/17 終了時)⇒283,707 枚 (4/24 終了時) **-6679 枚**

NY 市場 204,480 枚(4/17 終了時) ⇒206,345 枚 (4/24 終了時) **+1865 枚**

【4月21日(月)】NY反落=ロンドン=休場

ニューヨーク市場の7月きりは反落し、16ドル(0.5%)安の3004ドルで終了した。出来高は30日平均の2万4900枚を大きく下回った。

今年第1四半期(1~3月)の北米圧砕統計が17日の市場引け後に発表され、圧砕高は6四半期連続で増加したことが示された。だが増加幅は約1年半ぶりの低水準となった。

ココア相場は2013年に20%急騰した。需要増を受け供給が逼迫(ひっばく)するとの見方が背景となった。だが2年半ぶりの高値水準で頭を抑えられ、1月終盤以降、上昇の勢いは弱まっている。ロンドン市場は復活祭の連休で休場。取引は22日に再開される。

【4月22日(火)】NY小反発=ロンドン=反落

ニューヨーク市場のココア先物は小反発。7月きりは2ドル(0.07%)高の3006ドルで引けた。

今月公表された第1四半期のカカオ豆圧砕高は、北米、欧州とも小幅に増加した。ロンドン市場の7月きりは反落し、9ポンド(0.5%)安の1872ポンドで引けた。

【4月23日（水）】NYは小幅続伸＝ロンドン反発

ニューヨーク市場の7月きりは小幅続伸、2ドル（0.07%）高の**3008ドル**で終了。ロンドン市場の7月きりは反発、10ポンド（0.5%）高の**1882ポンド**で引けた。ニューヨーク市場はレンジ取引。コートジボワールのカカオ豆着荷が高水準となっているが、アナリストらが引き続き世界の供給不足を予想する中、相場は3月に付けた2年半ぶりの高値を下回る水準で推移している。

【4月24日（木）】両市場とも反落

ニューヨーク市場の7月きりは反落し、29ドル安の2979ドルで引けた。ロンドン市場の7月きりも反落。19ポンド安の1863ポンドで取引を終えた。あるアナリストは「ロンドン市場の7月きりは40日移動平均の1867ポンドを下回ったことから、4月の最安値1843ポンドに向かって一段と下落する可能性がある」と語った。

【4月25日（金）】両市場とも続落

カカオ豆の主要生産地である西アフリカが天候に恵まれたことから、ココア先物は軟化した。ニューヨーク市場は続落。7月きりは26ドル（0.9%）安の**2953ドル**で引けた。週間ベースでは2.2%安となった。ロンドン市場も続落。7月きりは15ポンド（0.8%）安の**1848ポンド**で取引を終えた。

2、コートジ：十分な降雨でカカオ豆のサイズと品質が向上(4/22)

先週、コートジのカカオ豆の主生産地に大量の雨が降り、また適度に日が照った為4月～9月のミッドクロープの豆のサイズと品質が改善されることが見込まれている。

世界一に生産国であるコートジのミッドクロープの農作物の取引は正式に4月1日から始まり、コートジの多くの地域で収穫される。

カカオの木に新しい花が開花し、ここ最近の降雨によって小さなカカオポッドが実り始めていることから、7月と8月には大量の収穫ができるだろう。

コートジ西部に位置する Soubre はコートジのカカオ生産地帯の中核となっている。先々週には101mmの降雨があり、先週にも51mmの降雨が観測されており、カカオの生育にとって好条件である。

Soubre の農家は「来月には品質の良いカカオ豆が収穫できる良い条件がそろっている。なぜなら前シーズンと比較しても土壌に十分な水分がある。」と述べた。

Gagnoa の農家は「この地域では多くの収穫ができると思う。なぜなら大きなカカオの実が成熟してきているから。」と述べた。

こうした天候の好条件はまた、西部の Meagui, Duekoue、南部の Divo, Aboisso, Tiassale でも同様にみられる。

しかし農家によると、海岸沿いの San Pedro ではこの地区に降った大量の雨が道路交通に悪影響を与えており、一部の農園から港へのアクセスを妨害しているという。

San Pedro の農民は「大量の雨によってしばしば道路が寸断される。しかしこの雨で乾季のダメージからカカオの木が回復してきているのも事実。ようやくカカオの木に多くの花が付き始めている。花をつけるのが遅く、ミッドクロップの収穫期の遅れを意味している。」と述べた。

またある農家は「コートジは一日中暑さが厳しいが、この暑さはカカオ豆を守る為に役立っている。多くの生産者は収穫の準備を始めている。」と述べた。

3、コートジ：4/20 までにカカオ豆 1 2 2 万 1 0 0 0 トンが港に着荷 (4/22)

コートジのカカオ豆の着荷量は 1 0 月 2 日以来、4 月 2 0 日までに 1 2 2 万 1 0 0 0 トンとなった。輸出業者は 4 月 1 4 日～4 月 2 0 日までにアビジャン港とサンペドロ港に運ばれたカカオ豆は 2 万 4 0 0 0 トンであると見込んでおり、昨年同時期の 1 万 5 0 0 0 トンから 9 0 0 0 トンの増加となった。

4、カメルーン：カカオ豆輸出量がシーズン合計で 1 4 万 3 3 7 4 トンに (4/23)

カメルーンは 3 月に 3 2 0 7 トンのカカオ豆を輸出した。2 0 1 3 / 1 4 年が 8 月 1 日に始まって以来の輸出量の合計は 1 4 万 3 3 7 4 トンとなり、昨年同時期の 1 9 万 3 2 9 8 トンと比較し 4 万 9 9 2 4 トンの減少となった。

この 3 月の数字は 2 月の 6 5 8 0 トン、昨年 3 月の 8 0 4 6 トンと比べても減少となった。

ココア・コーヒー相互職業委員会 (CCIB) と国立ココア・コーヒー委員会 (NCCB) の両委員会は輸出量の減少は天候のせいであると見ている。しかし NCCB の統括マネージャーはシーズン通しての生産高は約 2 3 万 5 0 0 0 トンへと伸びることを確信している。

生産量の低下の影響で、2 月には 1 7 社いた輸出業者がたったの 7 社になってしまった。

輸出量 1 位はカメルーン・マーケティング・コモディティで 8 5 3 トン、続いて Ets Domo 社が 5 2 7 トン、アルマジロ・カメルーンが 3 5 1 トンとなっている。

カメルーンのカカオ豆の収穫期は 8 月 1 日～7 月 3 1 日で仕切られ、メインクロップは 1 0 月～1 月・2 月で、ライトクロップは 4 月・5 月～7 月である。

カメルーンにおいて、カカオ豆は中部・南西部の 4 つの地域で栽培されている。その 4 つの地域でカメルーンのカカオ豆の 4 0 % を生産し南部と東部が 1 5 %、5 % と続く。

栽培地域は徐々に北西部や西部でも拡大している。

5、ベトナム：カーギルの支援による教育施設でカカオ豆生産高向上を目指す(4/23)

カーギルは今週、6万USDの費用をかけて、ベトナムの Ba Ria-Vung Tau 地区にカカオ生産技術を指導する施設をオープンさせた。

また、ベトナムの Chau Duc 県の Xa Bang 地区にある施設はカーギルの支援ファンドが出資しており、Ba Ria-Vung Tau, Dong Nai, Binh Thuan の3つの地区からの2000人の農家の教育施設として機能している。

この種の施設はベトナム初の試みで、200人を収容できるトレーニングルームや事務所やカカオ豆収穫後の実験農園、1.7ヘクタールの実験農園を併設している。

この施設は同日でベトナムの Xa Bang 農業組合と州立機関（農業と地方経済の開発に携わっている）に手渡された。

その開会のスピーチでカーギルのアジアにおけるカカオ部門のトップである Job 氏は「この施設は特別な任務を果たすために作られた。農民に技術を単に提供するだけでなく、栽培方法とその維持の仕方を伝え、技術教育をすることによって農民を手助けしている。」と述べた。

ベトナムの多くの農民は生産力を向上させる知識や技術が欠如している。

施設が提供するキーとなる技術教育プログラムで、今後3年で生産量を30～50%上昇させることが可能となる。

この施設を受け継いだ Bui Phat Minh 氏は「小規模農場経営や専門知識の欠如によって、安定的なカカオ生産の発展が妨げられている。」と述べた。

彼はまた「この地域には1246ヘクタールのカカオ農園があり、約429トンの酸味のあるカカオ豆を生産している。しかし近い将来はその農園を1500ヘクタールまで拡大し、ペッパーやコーヒー、果物と交互に収穫できるようにしていく。」と加えた。

農民がカカオ豆買い付け業者とプレス業者とコンタクトできるようにするだけでなく、技術訓練を提供することでカカオ産業の安定的な発展を助けることができる。

ベトナムは22000ヘクタールのカカオ農園をもち、年間5000トンのカカオ豆を生産している。またカーギルはベトナム産カカオ豆の最大の買い付け業者となっている。

～弊社取扱いベトナム産カカオ原料～

① ベトナム産カカオ豆 (2kg)



2013年10月パリのSalon du Chocolat内で開かれたInternational Cocoa Awards(ICA)にてCocoa of Excellenceを受賞。

カカオ豆はすべてトリニタリオ種単一。

収穫農地は南部メコンデルタ地帯、南東ハイランド地帯。

通常農家ごとに品質の違いが出る発酵と乾燥工程を、集荷工場にて一元管理することで常に安定した品質を提供している生産者の豆になります。

味の特徴：青リンゴやストロベリーを感じさせる爽やかな酸味

豆サイズ：80—95粒/100g サイズ均一

水分値：7—8%

カビ豆率：1%以下

未発酵豆率：1%以下

選別不要

*また上記のベトナム産カカオ豆を使用したカカオマスの取り扱いもございます。

*特別の注釈がない記事は全て、基本的にロイター通信社のニュースソースを基に作成したものです。

《お問い合わせ先、配信希望または、停止のご連絡先》

株式会社 立花商店 東京支店 生田

TEL03-5785-3545 w-ikuta@tachibana-grp.co.jp